

専門人形劇演技者育成講座

全人協は2024年度も全国で講座を開催します！ その中から人形劇団京芸と人形劇団クラルテでの講座をご紹介します！
プログラムは、人形劇のプロ演技者を対象としていますが、演技者ではない方、アマチュアで活動をされている方なども、ご参加いただけます。お申し込みの際は、件名を『全人協講座申込』としていただき、本文に「参加希望の日程・お名前・ご住所・電話番号・年齢・人形劇の経験年数・(あれば)所属先」をご記載ください。

人形劇団京芸 稽古場 (JR「宇治」駅から維中前または宇治田原行きバスに乗車「白川峠」より徒歩8分)

お申し込み・お問い合わせ／人形劇団京芸(担当／長谷川) E-mail office@kyougei.com

京都講座①「インプロから学ぶ」 講師／鈴木聡之 (インプロパーク主宰、インプロファシリテーター)

1958年東京生まれ。千葉県に小学校教員として21年間勤務。
2002年にインプロに出会い、総合学習で即興演劇の授業を实践。
2006年に退職後は全国各地でインプロのワークショップや、パフォーマンスライブ、学校でのインプロ授業を実施し続けている。武蔵野学院大学&有明教育芸術短期大学非常勤講師。
著書「子どもたちとレッツ！インプロ！～誰もが『ここにいていい』と思える場づくりのために」(晩成書房)



内容 「インプロ」とは「即興」という意味の英語 Improvisationを略した言葉です。日本には、90年代に俳優たちのためのプログラムとして入ってきましたが、現在では、演劇の枠を超えて、学校教育、社会教育、企業研修など、様々な場所での「学び」に取り入れられています。本ワークショップではインプロを通して、「失敗」や「禁止」に縛られない、開放的で、ポジティブで、心地よいコミュニケーションの構築と、自分らしい自己表現を楽しみます。また表現するということが本来持つ自由さを体験することで、伸びやかな即興力を磨き、予定調和ではない「今」を生きる人形劇演技の習得を目指します。

日時 2025年1月19日(日) 13:00～16:00 (12:45開場) **持ち物** 動きやすい服装とシューズ(上履き)

京都講座②「生きた人形操演」 講師／栗原弘昌 (人形劇団ブーク代表)

1963年、福島県郡山市生まれ。小中学校時代は演劇とは限りなく接点のない野球少年でした。福島大学経済学部卒。大学1年時に福島子ども劇場青年部に在籍していた友だちに連れられ、ブークの「怪じゅうが町にやってきた」を観たことがきっかけで1988年ブーク入団。以後、日本各地の方々と交流を重ね、叩き上げ人形劇人として現在に至る。うお座A型、SAJ2級、野球と将棋が好物。



内容 現代人形劇において、人形劇俳優は、生き生きと役を演じながらも俳優自身でその人形を丁寧に操作表現していく必要があります。しかし如何に丁寧にあっても、その人形操作が機械的であったり、よそよそしい印象となってしまうと、観客の心を動かす芝居にはなりません。人形劇俳優は、まるで人形自身が「自分の意思を持って生きている」かのように作品に存在することを目指し、修練していく必要があります。本ワークショップでは、人形を中心に捉え、柔軟性と動きの芯を両立させる、生き生きとした人形操演法の習得を目指します。

日時 2025年2月16日(日) 13:00～16:00 (12:45開場) **持ち物** 動きやすい服装とシューズ(上履き)

人形劇団クラルテ 3Fアトリエ (大阪メトロ四つ橋線「住之江公園」駅南4番出口より徒歩7分)

お申し込み・お問い合わせ／人形劇団クラルテ(担当／鶴巻) E-mail office@clarte-net.co.jp

大阪講座「創造のタネをさがす」 講師／山田俊彦 (人形劇団ココン代表)

人形劇団ココン代表、2001年から活動を開始。作品の作・演出・美術・出演を担当。1人芝居の糸あやつりを中心に他の手法でも創作しています。2人出演の作品もあります。ココンは、フランス語で繭(まゆ)のこと。この繭から、楽しい世界、不思議な世界、ヘンテコな世界、怖い世界が生まれます。2001年、2006年、日本人形劇大賞受賞。2019年、やなせたかし文化賞受賞。ITOプロジェクトのメンバーとして、人形制作、出演をしています。



内容 全てがオリジナルである人形劇団ココンの作品はユーモラスでありながら、時にドキリとさせる不思議な魅力にあふれています。ココンだけでなくITOプロジェクトなどでも独創的な作品制作を継続する講師より、その発想はどこから来るのか、具体的な作品を例に、その創造過程を聞きます。そして絵本や文学を原作とする作品創作に比べ、ハードルが高いと思われがちなオリジナル作品の創造について、その方法論を探ります。

日時 2025年1月21日(火)・22日(水)・23日(木) 15:00～18:00 (14:45開場)
※3回通しでのご参加を推奨しますが、いずれか1回のみ参加も可能です。